

令和6年度 友の会関東支部 活動報告書

関東支部長 馬場 泰則

光陰矢の如しとは言え、月日の流れは、もはやお盆を迎えようとする昨今となりました。

当支部は本年度3名の故人(関口誠三氏、山本秀一氏、八板 稔氏)を送りだすことを余儀なくされました。

このような状況の中で8月4日(日)本部から2名(北澤会長、東川 IT 担当)の応援を得ながら支部会員(尾上茂男、松本 栄、坂入正男、前田美恵子、山田かつ枝、水落よね子、大久保雅弘広報担当、竹澤英雄副会長、馬場泰則支部長)11名での活動となりました。

前半は関東工場時代在りし日に利用させて頂いた蕎麦屋に集合、故人3名の追悼の後、本部からの近況報告、参加者個々の昔話から健康管理、家庭環境迄、広範囲に渡り「時」を忘れるほどの話に華が咲きました。

後半は市内で高名な高齢者介護施設に移動し素人芸能大会を見物しました。

25各種団体の愛好会、サークル等が多数参加しての演芸大会、歌あり、踊りあり、ダンスありの3時間、広大なホールは100名余りの参加者、観覧者で満員の賑わいに圧倒されると同時に大いに楽しませて頂きました。

驚くなかれ、参加者は100%女性サークル、男性は全く皆無、近代の女性の活躍ぶり、勢いに改めて驚異の目を見張り、確認させて頂きました。

最後はお互いの今日の出会いに感謝すると共に健康にての再会を誓い会い、しばしの別れを惜しみました。

以上